



1 種まき・間引き

直径9cmのポットに培養土を入れ5～6個指で軽く凹みを作ります。凹みに一粒ずつ種を入れ、軽く土をかけます。土をかけたならタツプリ水をやります。

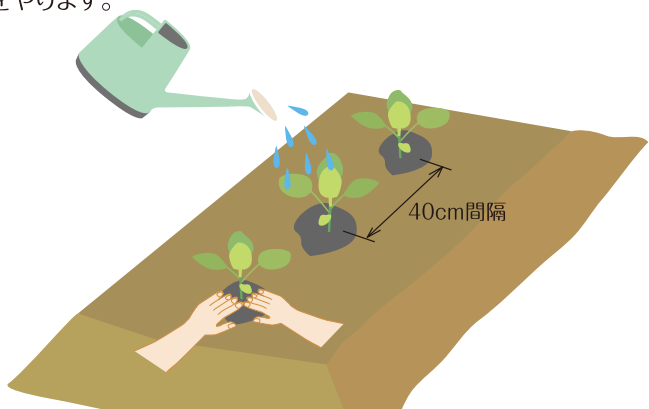


芽が出たら3本に、本葉が出たら2本に、本葉が3～4枚になったら1本に間引きます。植え付けは本葉5～6枚に成長すればOKです。



3 植え付け

ポットより深めの穴を40cm間隔で掘り、穴にタツプリと水をやります。水が引いたらポットから抜いた苗を穴に入れ、根元を軽く押さえて、またタツプリ水をやります。



5 摘葉 日当りを良くする

茎の下の方から小さな結球(わき芽)が出て来ます。結球に陽がよく当たるように下の葉から摘み取ります。葉は最終的には上の10枚くらいを残すように摘み取ります。



2 畑の準備

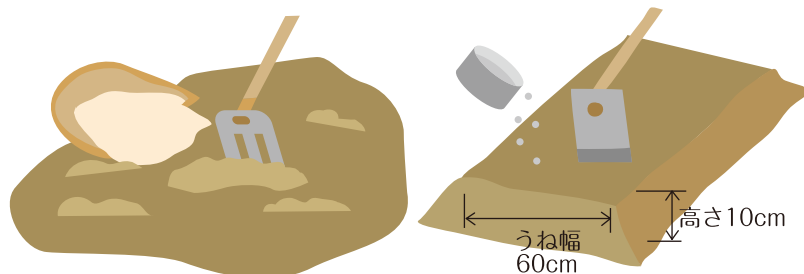
連作障害が出やすいので、植え付けは1～2年アブラナ科の野菜を作っていない場所を選びましょう。

土作り

植え付けの14日前までに「良菜健穂」、「大地」、「コフナ」をまいて深く耕し土作りを行う。

元肥・うね立て・マルチ張り

植え付けの7日前までに、元肥の「有機盛々」をまいて、幅60cm高さ10cmのうね立てを行います。



土作り

良菜健穂:10坪当たり 2kg
大地:10坪当たり 3～5kg
コフナ:10坪あたり 3～5kg

元肥

有機盛々:10坪あたり 4kg

4 追肥・土寄せ

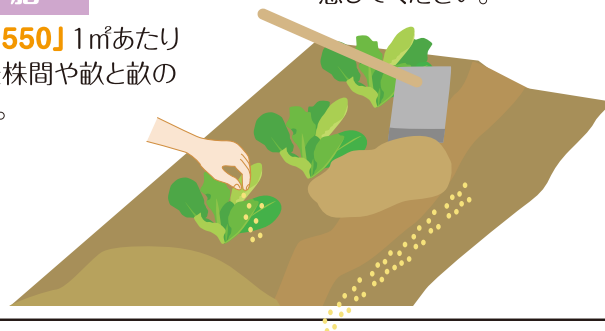
植え付け後20日に1回目の追肥と土寄せをします。その後は2～3週おきに3回行います。

土寄せ

2回目以降は株を安定させるようにしっかり土寄せします。下葉に土がかからないように注意してください。

追肥

「千代田550」1㎡あたり約30gを株間や畝と畝の間にまく。



6 収穫 下から順番に

結球の大きさが2～3cmになったら下の方から収穫します。育ちが悪い開いているものは取り除きます。



病気・害虫

アオムシ、アブラムシ、コナガなどが発生しやすいので注意しましょう。害虫を発見したら捕殺または薬剤を散布します。不織布や寒冷紗でトンネルを作ると、ある程度侵入を防ぐことができます。



月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
中間地	🌱	🌱					🌱	🌱	🌱		🌱	🌱
暖地	🌱	🌱					🌱	🌱	🌱		🌱	🌱
寒冷地					🌱	🌱	🌱	🌱	🌱	🌱	🌱	🌱

🌱 種まき期
🌱 植えつけ期
🌱 収穫期

土いじり応援プロジェクト



無断転載禁止